

第 56 次 東南アジア医学研究会 活動報告書

日本医科大学 1年 大木慎太郎

活動報告

8/12 タイ派遣 1 日目

5 年生を除く全員で羽田空港から出発し、スワンナプーム国際空港を経由して無事チェンマイ空港に到着しました。

8/13 タイ派遣 2 日目

この日は、午前中にチェンマイ大学の医学部長にお会いし、チェンマイ大学の歴史、目標をお教えいただきました。そのあと内田先生による well-being についての講義を拝聴しました。自分自身の well-being に必要なものを考えることで省察する良い機会になりました。

午後は Red Cross Hospital にて肝臓がん超音波スクリーニング検査の見学、体験をさせていただきました。最初は何も見ることはできませんでしたが、教えていただくにつれてだんだんと何が写っているのか、どのような手順で検査を進めていくのかを学ぶことができ、とても良い経験になりました。

夜はチェンマイ大学医学部長に夕食に招いていただき、豪華な中華料理のお店で美味しい夕食をいただきました。タイの学生さんとも交流でき、とても良い経験になりました。



8/14 タイ派遣 3 日目

この日の午前中も昨日に引き続き Red Cross Hospital で肝臓がん超音波スクリーニング検査を行いました。1 日目ではまだ謎だった部分や、わかっていたと思っていた部分も先生の英語を聞くと微妙にニュアンスが違ったりして英語で学ぶ難しさを知りました。

Red Cross Hospitalでお昼ご飯を食べた後、チェンマイ大学の教授から子供の感染症について講義を受けました。タイではメジャーな5つの病気(Measles, Chickenpox, Pertussis, Hand foot and mouth disease, Rotavirus infection)について教えていただきました。日本と被る感染症もありながら、タイにしかない病気などを英語で講義していただきとても良い体験ができました。



8/15 タイ派遣4日目

この日は午前中、昨日一昨日に引き続きレッドクロスで3回目の腹部エコーの補助を行いました。この日は、スクリーニング検査の中でも最もライトな人が集まる日で、女性が多くこれまでよりもより和やかな雰囲気でした。お昼ご飯にはレッドクロスの方々がタイの麺料理、ラートナーをご馳走してくださいました。また、午後には、胸部のマンモグラフィに関する講義を受けた後、実際に用いる機械や道具を拝見しました。夜には、タイの学生さんたちとアーンケーオダムを散歩した後、タイ北部の料理を頂きました。タイ北部の料理は、チェンマイの人でも食べたことがないものが多く、我々は蟻の卵と豚の脳みそをいただきました。どちらもとても美味しくいただくことができました。



8/16 タイ派遣5日目

この日の午前にはレッドクロスで最後の腹部エコーの補助をしました。患者さんを見終わ

ったあとは生徒同士でエコーの実践をさせていただきました。一年生では医学の授業があまりなく貴重な経験をさせていただきました。お昼にはカオソーイを頂きました。私は二度目のカオソーイでしたがとても美味しかったです。

午後はマンモグラフィー検査結果を元に診断結果を予想するというゲームをチーム対抗で行い、夜は thank you party でチェンマイ大学や Red Cross Hospital でお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えました。私たちはAKB48の『ヘビーローテーション』と『恋するフォーチュンクッキー』を踊りました。タイの学生の方々もダンスを披露して盛り上げて下さりました。



8/17 タイ派遣 6 日目

この日でチェンマイでの活動は最終日となりました。午前中は各自で自由に過ごした後、午後からはチェンマイ大学の学生さんと一緒にまずはチェンマイ市芸術文化センターに行きました。ここではチェンマイの歴史や文化を詳しく学ぶことができました。次に、チェンマイで有名な寺院である Wat lok moli と Wat Chedi luang を訪れました。実際にお参り、御神籤を引くなどして現地の文化に触れることができました。最後はウアライ通りにあるサタデーマーケットをまわり、屋台のご飯やお土産を買ってローカルな雰囲気を

味わいました。

8/18 タイ派遣 7 日目

この日でチェンマイ大学の方々とはお別れとなりました。皆さん優しく接して下さい、沢山のことを学ばせて頂きました。チェンマイの方々と別れた後、我々は飛行機でス



ワンナプーム国際空港に向かいました。Boonsongさんとタマサート大学の学生さん達にお出迎えしていただき、その後、夜ご飯でムーガタを食べました。ムーガタとは、タイの伝統的な料理で、焼肉としゃぶしゃぶを合わせたような料理でとても美味しかったです。

8/19 タイ派遣 8 日目

この日の午前中はタマサート大学の教授の方とお会いさせていただきました。医学部長さんは非常に気さくで親しみやすく、アマゾンカフェのお茶まで出させていただきました。

その後は、病院を巡りタイの医療技術について学びました。午後には、マンモグラフィに関する講義を受けさせていただきました。

夜はタマサート大学の学生さんたちとリバーサイドレストランで食事を楽しみました。料理はどれも美味しく、食事後は、みんなでボードゲームやビリヤードをして、楽しい時



間を過ごしました。

8/20 タイ派遣 9 日目

この日の午前はタマサート大学の5年生の先輩にタマサートの学生寮、大学内にある運動場、寺院、図書館を見学しに連れて行っていただきました。その後、屋台で昼ごはんを買って食べました。

午後は別の女子学生3人が病院を案内してくれ、いくつかの施設を見学した後2つのグループに分かれました。我々の班では、妊婦さんが出産する場所も見学できました。その後モールに行ってお土産等を買って、モール内で夜ご飯を食べました。



8/21 タイ派遣 10 日目

この日の午前中はタマサート大学病院で超音波検査の見学をしました。Red Cross Hospital で使用していた機材よりも高性能で、見え方の違いも確認できました。

昼食後は Thana 教授からタイの感染症についての講義を受けました。蚊に刺されることでデング熱にかかる可能性があること、洪水時水に足が浸かると感染症になる恐れがあることを学びました。

夕方は公園にいたタイの学生たちに混ざってフットサルをしました。スポーツは世界の



人と簡単に繋がることができると再確認しました。夕飯はタイ料理をいただきました。で

8/22 タイ派遣 11 日目

この日は Buddhasothorn Medical Education Center (BMEC) に訪れました。午前中は講義、午後は施設見学をしました。施設見学では実際の手術や内視鏡検査などが見学できアーリーエクスポージャーの一環としてとても有意義な活動をさせていただきました。

夕方からはバンコクの市街地に電車で行きショッピングやマッサージなどを楽しみました。今までチェンマイ、タマサートと行ってきましたが、バンコクの中心部はこれまでの土地に比べて車も圧倒的に多く、東京に近い雰囲気を感しました。



8/23 タイ派遣 12 日目

この日の午前中は、Puritat 先生から、タイの伝統的な医学について講義をして頂いた後、Buddha' s hand inhaler と Herbal compress ball を作りました。Buddha' s hand inhaler は、容器の個数が余っていたため、眠気を催す香りの物と、目覚めさせる香りの2種類を作ることが出来ました。また、午後には、タイの伝統的な医学を施すクリニックに伺い、実際の施術を体験させて頂きました。サウナに似た施設の中に 30 分入って汗をながす伝統療法がありましたが、普通のサウナとは違う爽快感がありました。その中で、午前中に私たちが作成した Herbal compress ball の使い方を教えて頂きました。また、夜には Boonsong さんお勧めのベトナム料理屋に行き、様々なベトナム料理を食べまし



た。

8/24 タイ派遣 13 日目

本日は一日タマサートの学生さんたちと共に観光する日でした。約 2 時間半のバス移動で Damnoen Saduak Floating Market に向かいました。船に乗り、川沿いに並ぶたくさんの店を見て周り、買い物ができるとして有名なマーケットですが、店を見て回るだけでも楽しめるマーケットでした。

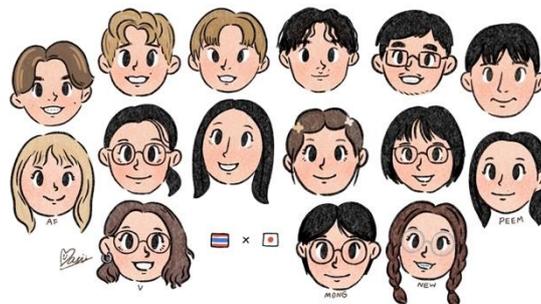
その後、THE POMELO Amphawa という人気のレストランでタイ料理をいただきました。

午後は Chang Puak Camp で象に乗りました。水の中を進むエリアもあり、楽しかったです。初めての象に乗る体験で、非常に象の生命力を感じることができました。



8/25 タイ派遣 14 日目

この日も飛行機に乗るまで観光でした。タマサートの学生さんたちと寺院に行ったあと、アユタヤ遺跡を巡り、お昼を食べて、空港まで見送りに来てくれた学生さんたちとお別れして飛行機に乗り、無事に羽田空港、日本に帰ってこることができました。タマサートの学生さんたちからは素敵な我々アジ研メンバーの似顔絵入りのポストカードをいただきました。



終わりに

今回この東南アジア研究会第56次派遣メンバーとしてタイへ行けたことを大変嬉しく思います。今回の旅で気づいたのは、このアジ研の歴史の長さだけでなく、今までの先輩方がいかにタイの人々と友好的な関係を気づいてきたかということでした。我々を受け入れてくださるだけでなく、おもてなしまでしてくださったタイの方々のホスピタリティ、その優しさに応えるべく歴史を紡いできた先輩方、先生方、国際交流センターの方々には感謝しかありません。また機会があれば参加させていただきたいです。本当にありがとうございました。